1	平成28年3月18日審議		
	申請者	副院長	高橋　幸利
	2015-32	てんかんにおけるロイコトリエンの役割に関する研究	
	研究の概要	システイニルロイコトリエンのてんかん病態への関与を明らかにすることで、新しいてんかん治療薬の開発を目指す。	
	判定	承認	本申請は承認された。

2	平成28年3月18日審議		
	申請者	副院長	高橋　幸利
	2015-33	自己免疫介在性脳炎・脳症に関する多施設共同研究２０１６０２	
	研究の概要	自己免疫介在性脳炎・脳症について、血液・髄液における補体、ロイコトリエンの測定やマウスに対する生物学的効果を検討し、早期診断と治療法の開発を目指す。	
	判定	承認	本申請は承認された。

3	平成28年3月18日審議		
	申請者	臨床研究部長	今井　克美
	2015-36	てんかん重積に対するミダゾラム（商品名ドルミカム）の頬腔、鼻腔、口腔粘膜および注腸投与。「当院看護職員のお子さん限定での自宅など院外における使用」	
	研究の概要	てんかん重積時のミダゾラム鼻・口腔粘膜および注腸投与を、当院看護職員の家族である特定患者について院外実施可能とすることで後遺症リスクを低減させる。	
	判定	条件付き承認	対象患者名の記載変更と、使用薬剤保管法を追記することを条件に承認された。

4	平成28年3月18日審議		
	申請者	小児科医師	表　芳夫
	2015-40	標準的脳波検査に賦活法として認知課題を含めることの有用性の評価	
	研究の概要	成人ボランティアのポリソムノグラフィー検査によって、寝返りの病態を明らかにする。	
	判定	条件付き承認	対象年齢を倫理審査申請書と臨床計画書に追記することを条件に承認された。